



Mr. HU Mingqiang

環境保護部東方事務所

中国

研究テーマ：原子力工学 / 原子力安全工学

受入機関：八戸工業大学

招聘期間：2018年9月3日～2018年11月16日

八戸工業大学での原子力技術基礎基盤 / 安全技術基礎基盤課題コースに参加できたことを光栄に思います。四竈先生は、日本における原子力エネルギー利用の発展や日本の原子力安全規制の進展及び改革について毎週、講義をして下さいました。先生はとても寛大で親切な方です。私は先生の視野の広さと深い見識に深く感銘を受けました。

石山先生は、主に実験の方法、例えばガンマ線検出器の組み立てや、環境試料のガンマ線測定等を指導して下さいました。また、石山先生と東京電力福島第一原子力発電所事故の原子炉炉心水位や温度等のパラメータの計算を行いました。

Jパワー大間原子力発電所や東北電力東通原子力発電所などの原子力発電所の見学は、合理的にスケジュールが組まれていました。佐藤先生には見学訪問の際に面倒を見ていただき、また、詳細な説明をしていただきまして、本当に感謝しております。

このプログラムを通して、私は自分が中国で行っている原子力施設監督業務に関連する多くの知識を学びました。日本に滞在したのはこれが初めてでしたが、温かい人々、美しい景色や活気ある文化は、この国に来た誰にとっても本当に素晴らしい贈り物です。私は二国間の友情が永遠に続くよう願っています。



Mr. RANASINGHE ARACHCHIGE Nirodha Chaturanga

スリランカ原子力委員会 (AEB)

スリランカ

研究テーマ：放射線防護の最適化とその手法に関する研究

受入機関：東京大学

招聘期間：2018年10月1日～2019年3月13日

「日出ずる国」の東京大学で、思い出多き6か月間を過ごせたことを光栄に思います。私は飯本先生の研究室で環境放射能測定の研究を行いました。特に、環境ラドン濃度の予測モデルや因子分析について研究しました。飯本研究室が現在行っている環境放射能研究は、環境の様々な面や、それが人間の健康にどのような影響を及ぼすかについて理解

する上で、日本や他の世界の国すべてに大きく役立つことでしょう。研究チームの科学的卓越性を垣間見たことは、私にとってまさに人生を変える瞬間でした。

研究室での研究活動の他に、量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所、自然科学研究機構核融合科学研究所等の研究所や、近畿大学及び京都大学の研究炉施設を訪問する機会に恵まれました。また、沖縄で開催さ

れた「The Asian Conference on Safety and Education in Laboratory (ACSEL) 2018」や、IAEA 地域トレーニングコース国際ワークショップ (TTWS 2019 JPN) に参加させていただきました。これらの訪問や会議への参加は、私の知識や経験を向上するための大きな機会となりました。

日本の荘厳な歴史、美しい自然、独特の料理、驚異的な技術、そして心の暖かな人たちの親切に触れることができ、とても光栄でした。簡単な日本語を学び、東京特有の雰囲気を感じたことは、私の人生でも素晴らしい記憶となるでしょう。

このような機会をいただいた文部科学省に対し、心より感謝申し上げます。私をご指導下さった飯本先生には、貴重な機会をいただき、特に感謝申し上げます。また、飯本研究室のメンバーの皆さまには心からの感謝と友情を感じております。

